SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

S12
中小企業におけるリクルート活動支援のための検索システム設計（ポスターセッション：シニア部門）

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2017-11-15
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 久根, 美奈子, 杉山, 岳弘
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/10455

S12

中小企業におけるリクルート活動支援のための検索システム設計

久根美奈子（情報社会学科），杉山岳弘（総合科学技術研究科）

本研究は、地方の中小企業への新卒学生の人材不足問題に関して、学生へのアンケートと中小企業社員へのインタビューに対する質的分析により、中小企業と学生のマッチング機会を増やす検索システムを提案することを目的とする。

本稿では、就職に関するアンケートの結果とそこから得られる検索システムの要件定義を報告する。アンケートは、2017年8月に浜松市商工会議所と共同で行い、静岡大学情報学部全1・2年生に対してメールを送り、74人から回答が得られた。アンケートから、学生は職場の雰囲気を重視する傾向にあり、「実際の職場の様子を情報として求めている」ということが明らかになった。さらにアンケート結果から、企業の特徴をキーとした検索、中小企業の強みを伝えられる情報の掲載、分布を表示し企業の特徴を明らかにするといった要件定義を行った。

（杉山岳弘研究室）

S13

浜松市に訪れる中国人観光客の行動パターン分析及びパターンマッチングによる逐次型観光推薦アプリのデザイン

ヨウキン（総合科学技術研究科），杉山岳弘（総合科学技術研究科）

浜松市商工会議所の調査によると、浜松市に訪れた外国人観光客のうち約80％が中国人観光客で、そのうち約97％は一泊のみで浜松市の観光やグルメに関する行動はほぼ行わない。本研究では、このような中国人観光客が浜松市での短い滞在時間内に、より良い体験をしてもらうことを目的とする。そのため、まず、浜松市に宿泊した中国人観光客に対して聞き取った情報（来た目的、行った場所、情報の調べ方、欲しいアプリ機能など）から行動をパターン化し、その行動パターンから問題点を明らかにする。さらに、より良い観光体験に導くため、その問題を解決する逐次型観光推薦アプリをデザインする。

まず、浜松市に訪れた中国人観光客を対象にSNSでの聞き込み調査を行った。調査結果から質的評価を行い、情報量の多い回答を抽出し、行動フローとして記述し、観光に対する意識によって三つ（消極的、中間、積極的）に分類する。次に、興味関心度によって三つ（無関心、低関心、高関心）の行動パターンにまとめ、「観光行動を円滑に行うために必要な情報不足」という問題点を明らかにする。最終的に、本アプリでは、各パターンの問題点に対して、タイミング良く適切な情報を提供し、次の行動を促すことで観光推薦を行い、より良い経験をしてもらい満足度を上げる。

[成果発表情報]

ヨウキン，杉山岳弘,'グラフ型データベースを用いた行動パターンマッチングによる逐次型観光推薦システムの検討',第14回観光情報学会全国大会講演予稿集,pp.13-14,（2017.07.01,静岡県立大学小鹿キャンパス）

（杉山岳弘研究室）